

八千代市教育委員会会議録
平成29年12月第9回定例教育委員会

1 期 日 平成29年12月13日(水)
開 会 午後1時30分
閉 会 午後2時5分

2 場 所 教育委員会庁舎大会議室

3 出 席 者

教 育 長	加 賀 谷 孝
委 員	石 井 伸 一
委 員	須 堯 福 美
委 員	佐 藤 志 津
委 員	川 嶋 一 永

4 事 務 局

教 育 次 長	大 澤 紀 子
教 育 総 務 課 長	斎 藤 仁
学 務 課 長	相 馬 剛
指 導 課 長	渡 邊 敏 雄
保 健 体 育 課 長	設 楽 憲 一
教 育 総 務 課 主 幹	蕨 茂 美
学 務 課 主 幹	兒 玉 健 司
指 導 課 主 幹	高 木 雅 晴
保 健 体 育 課 主 幹	加 藤 英 昭
郷 土 博 物 館 長	清 藤 一 順
少 年 自 然 の 家 所 長	平 岡 広 充
教 育 セ ン タ ー 所 長	白 井 聡
適 応 支 援 セ ン タ ー 所 長	稲 毛 英 三
青 少 年 セ ン タ ー 所 長	斎 藤 新 一
学 校 給 食 セ ン タ ー 所 長	平 田 博 史

5 開 会

○加賀谷教育長 ただいまから定例教育委員会を開会いたします。議事の進行を行う委員の指名を行います。八千代市教育委員会会議規則第20条の2の規定により、教育長において、石井委員を指名いたします。石井委員、よろしく願いいたします。

6 署名人の指定

○石井委員 それでは、署名人の指定を行います。加賀谷教育長のほか、須堯委員にお願いしたいと思います。

○須堯委員 わかりました。

7 前回会議録の承認

○石井委員 平成29年11月第8回定例教育委員会会議録の承認につきまして、質問がございましたらお願いします。

<質問なし>

○石井委員 では、お諮りいたします。平成29年11月第8回定例教育委員会会議録を承認することに、ご異議ございますか。

<異議なし>

○石井委員 ご異議なしと認め、平成29年11月第8回定例教育委員会会議録は承認されました。

8 教育長報告

なし

9 議 事

議案第1号 八千代市要保護及び準要保護児童生徒援助費事務要綱の全部を改正する告示の制定について

○教育総務課長 議案第1号について提案理由の説明

(概要)

提案理由：八千代市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例に規定する独自利用事務，及び新入学児童生徒学用品費等の入学前支給に伴い，事務の効率化と申請者の負担軽減を図るため，要綱について所要の改正をいたしたい。

(補足説明)

○学務課長 補足説明をさせていただきます。改正理由として大きく2点ございます。

1点目は，新入学児童生徒学用品費等について，平成30年度から入学予定者には就学前の時期，つまり前年度の3月に支給可能となりました。

そこで，保護者への経済的負担の軽減に資すると考え，特に要綱の第4条第2項第7号の別表に示した額を限度として支給いたします。

また，第9条第4項第4号には，前年度の3月に支給することを追加記載しました。

2点目は，行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第9条第2項では，市が個人番号の独自利用事務を一定範囲内で行うことが許可されています。

また，本市では，八千代市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例で，事務の範囲を定めております。

要約しますと，就学援助に関する事務手続きでは，マイナンバーカードを活用することで，事務の効率化と就学援助申請者の負担軽減が図れるようになりました。そのため，マイナンバー制度の導入に併せてそのシステムを円滑に活用できるよう要綱の文言を整えた次第です。以上，よろしくお願いたします。

<質疑・応答>

なし

○石井委員 議案第1号について採決を求める。

<異議なし>

採決の結果、議案第1号は原案のとおり承認されました。

議案第2号 平成29年度末及び平成30年度八千代市公立学校職員人事
異動実施要項について

○教育総務課長 議案第2号について提案理由の説明
(概要)

提案理由：人事異動により職員の資質の向上と人材育成を図るとともに、
学校運営の適正化と本市教育の振興を図り、公立学校職員組織の活性化を期
する。

(補足説明)

○学務課長 補足説明をさせていただきます。昨年度と大きく変わった点は
ございませんが、追記した箇所が1か所ございます。

「1 適正配置について」の(5)において、「特に、小学校においては、
学習指導要領等の趣旨を踏まえた教科指導や生徒指導の充実が図られるよう、
中学校教員の計画交流をより積極的に行う。」という文言を追記しました。

具体的には、小学校での英語教育の充実を図るため、小学校に中学校の英
語科教員を配置することや、生徒指導を円滑に行うために小学校の免許を持
つ中学校教員を小学校に異動させることを推進するものです。現在、小中一
貫校設立を目指していることもあり、計画的に交流を進めたいと考えており
ます。

<質疑・応答>

○石井委員 数年このような要綱で実施されていると思うのですが、達成
率といいますか、この要綱どおりに進められているのでしょうか。

○学務課長 私も今年度、学務課長に就任いたしまして、3年前に主幹として
課長を補佐する立場にいた時の状況ですけれども、先生方の希望については、
優先させながら、ただ、中学校の場合は教科の必要性がありますので、なか
なか希望に沿うのは難しいという状況にあります。また、中学校は部活動がご
ざいますので、各学校で部活動を推進するためには、そちらを考えて配置しな
ければならないということで、それについては学校の希望に沿うようにやって
いるのですが、個人の希望に沿っているかどうか、その辺のところは努力しな

ればならないというように思っております。

○須堯委員 休職者は増えているのですか。

○学務課長 休職者というと半年以上お休みされた方になるので、比較しにくいのですが、一月以上の療養休暇をとられた職員をみると、昨年度は11名、今年度は今現在18名です。27年度は20名でしたので、昨年度が特に少なく、あとは比較的20名前後で推移しているように思います。

○石井委員 議案第2号について採決を求める。

<異議なし>

採決の結果、議案第2号は原案のとおり承認されました。

10 その他

○指導課長 指導課から3点ご報告させていただきます。

1点目は、人権作文コンテスト及び人権ポスター原画コンテストについてご報告いたします。

平成29年度全国中学生人権作文コンテスト及び平成29年度千葉県人権ポスター原画コンテスト 船橋・八千代地区大会の表彰式が11月12日、船橋市文化創造館きららホールで開催されました。

全国中学生人権作文コンテストでは、阿蘇中学校2年の鹿野亜弥さんが八千代市長賞に、勝田台中学校3年の川島由真さんが八千代市教育委員会教育長賞に入賞しました。その他に優秀賞1名、奨励賞9名が選ばれました。

また、千葉県人権ポスター原画コンテストで、最優秀賞に勝田台中学校の辻川日菜さん、八千代市長賞に萱田南小学校の^{ぼくすあ}朴秀娥さん、八千代市教育委員会教育長賞に勝田台南小学校の^{りつ}中澤立くんが選ばれました。また、その他奨励賞に10名が入賞いたしました。

2点目は、子ども美術展についてご報告いたします。

去る12月7日から10日までの4日間、オーエンス八千代市民ギャラリーにおいて八千代市子ども美術展を開催いたしました。

これは、「市内児童生徒の造形活動に対する関心・意欲を高め、情操教育の振興を図る」ことを目的に開催するもので、主に2学期に制作した絵画をはじめ、デザイン画・平面作品・立体作品など小中学校合わせて1,292点の優れた作品が出品されました。

また、12月の人権週間に合わせ、市内の小中学生が描いた子ども人権ポスター13点を展示し、人権意識の向上に努めました。

展示期間中の参観者数は、2,877名で、特に土・日曜日にはたくさんの方が来場しました。

3点目は、子どもサミット中学生リーダー研修会についてご報告いたします。

12月7日から8日までの1泊2日、少年自然の家において、子どもサミット中学生リーダー研修会を実施いたしました。市内11校の各中学校からそれぞれ2名の代表生徒が集まり、自分たちの進捗で研修会を進めながら、次年度のテーマを考え、サミットの活動をどのように展開していくかについて、積極的に話し合いを行いました。話し合いの結果、今年度についても昨年と同様に「防災～Save the Life 今、私達にできること～」というテーマになりました。また、子どもサミットの委員長・副委員長・議長・副議長も互選により選出されました。

今回の研修会が、児童生徒のより主体的な活動につながるよう取り組んでいきたいと考えております。以上でございます。

○教育センター所長 平成29年度全国学力・学習状況調査の結果についてご報告いたします。

今年度も検討委員会を立ち上げ、本市における学力・学習状況調査の結果についてまとめました。まとめた概要につきましては、八千代市教育センターのホームページに掲載しています。

来年度については、検討委員会による結果の分析をさらに深めていくこと、次期学習指導要領に対応した授業の改善に向けての提言を行っていくことを検討しています。以上で報告を終わります。

○教育総務課主幹 八千代市埋蔵文化財通信「埋やちよ」No.38の発行についてご報告いたします。

「埋やちよ」No.38は、今年度3回目の発行となり、発行部数は約2,000部です。市内の小中学校や図書館・公民館など多くの公共施設に配付している他、支所など多くの窓口へ配布を依頼しています。

今号では、上高野所在の平沢遺跡から出土した弥生土器からわかる弥生時代の交流について特集しています。

弥生土器は、主に文様や粘土に含まれる鉱物などを分析することによって

分類することができます。平沢遺跡から出土した弥生土器は、印旛沼沿岸域の特徴を持つ土器、東京湾沿岸域の特徴を持つ土器、茨城県や栃木県地域の特徴を持つ土器、東京湾沿岸域の土器を模倣して作った土器の4つに分類することができました。土器を分析することで、上高野の弥生人たちが、関東地方の広い地域の弥生人たちと交流をしていたことが判明しただけではなく、製作技術の伝播についても知ることができました。八千代の弥生時代を解明していく上で、貴重な手がかりとなったことを報告しています。

また、今号は、「八千代市出土文化財展示会」の詳細な解説書も兼ねています。展示会に訪れる人たちへ「埋やちよ」を周知する絶好の機会としたいと考えております。

これからも、「埋やちよ」を通して、埋蔵文化財の最新情報を広く発信して参ります。以上です。

○郷土博物館長 郷土博物館から第3回企画展の実績及び今年度に予定しております主な事業の概要について報告させていただきます。

第3回企画展「八千代三万年の足跡」ですが、市制施行50周年の記念事業として八千代に人々が暮らしを営み始めて約3万年の歴史を見つめ、今日に至るまでの特徴的な出来事等10項目を選び、展示するとともに展示解説書を刊行いたしました。展示解説書は好評で、会期中に178冊のお求めをいただきました。

また、併せて50年間の八千代市の変貌について、写真資料により紹介する「写真で見る八千代の半世紀」を開催いたしました。

会期は10月3日から11月26日の48日間で、会期中の博物館利用者数は4,752名でした。

また、関連事業として10月15日に開催した、国立歴史民俗博物館館長で、本館博物館協議会副委員長である久留島浩^{くるしま}先生の「村から見た近世の八千代」という講演会には88名の参加がありました。

次に、今年度に計画している今後の主な事業は資料に記載したとおりです。「暮らしのうつりかわり展」は「変わりゆく学び舎」というサブテーマで、様々な昔の道具の展示に加え、江戸時代の寺子屋や明治時代の学制発布により開校した市内4校の校旗・学校印等の資料を展示します。

なお、この展示の閉会まで、先に触れた「写真で見る八千代の半世紀」を延長して開催いたします。

このほか、市内在住の外国籍市民の方々との連携事業、同好会の展示、そして、市民の方々の記憶から災害の厳しさが消えないためのミニ展示なども予定し、市民の方々への様々な情報提供を行ってまいります。以上でございます。

〈質疑・応答〉

○川嶋委員 人権作文コンテストですが、文集のようなものになって私たちが読めることはできるのですか。

○指導課長 優秀作文につきましては、当日、きららホールで読み、みなさんに披露しております。それ以外にも優秀作品は、一覽で冊子になりますので、その時に読んでいただければと思います。

人権擁護委員を務めている須堯委員が詳しいと思いますので、補足ありましたらお願いしたいと思います。

○須堯委員 冊子になって図書館と、各学校に40冊ずつ配られます。

○川嶋委員 題名を見て読んでみたいと思うものがいくつかありました。

○須堯委員 中学生の人権に関するみずみずしい感性が、そのような見方があるのかといつも感銘を受けるところでございます。作文集にしまして、各学校に送られますので、見ていただければと思います。

また、人権ポスターにつきましては、子ども美術展と一緒に展示していただきまして、小学校は学年ごとに、中学校は学校ごとに、明るく、本当に素敵などころに展示されていきました。広くて明るくてゆったりと、そして、昨年度は気付かなかったのですけれども、作品が映えるような色の敷物を敷いて工夫されていきました。例えば、白っぽいものであれば紺の敷物を敷いた上に置いてあったり、背景が白いと、黒いところを上手にしきってその絵が浮かぶように展示されてあったりするのを見て、先生方の展示方法の工夫で来られた方によりアピールができたのではないかと感心いたしました。今後ともまたよろしくお願いいたします。

○川嶋委員 企画展の会期中に開催された「八千代の三万年を語る」という講座に参観させてもらったのですけれども、かなりの人数が参観されていきました。駐車場がとても狭くて、満車になってしまって、職員の方が誘導していましたが、入口のところまで目一杯という状況でした。どこかにスペースが確保できるのであれば考えた方がいいのではないかと思います。

また、講座が1時間半だったのですけれども、3万年を1時間半でとなるととても短くて、ある程度ポイントを決めて時間を長くするか、2日間にわけて行くとよりよかったと思いました。せっかくの講座がもったいないように思いました。

○郷土博物館長 ただいまのご意見、参考にさせていただきたいと思います。

駐車場につきましては、毎回来場者の多いイベントについては懸案事項としてあるのですが、近隣店舗と話をしております、イベント等でいっぱいになった時は駐車場を貸してもらえようをお願いをしております。30台弱は整理して館内に駐車できるのですけれども、そこが溢れた時には近隣店舗の駐車場を案内するというような手段をとっています。

○川嶋委員 正覚院も近いので、正覚院の駐車場が空いている時には使えると思います

○石井委員 全国学力・学習状況調査の結果は教育委員会のホームページに掲載されているということでしょうか。

○教育センター所長 はい。

○石井委員 子どもサミット中学生リーダー研修会について、最近子どもがアクティブラーニングで主体的に動くことを普段から実施していますが、指導課長からご覧になって、この研修会に出てくる中学生リーダーの変化を感じるところはございますでしょうか。

○指導課長 子どもサミットは平成21年度から開催しておりますが、中学生リーダー研修会は今年で6回目ということになります。年々会を重ねるごとに子どもたちの活躍の場が広がり、活動が子ども主体になっております。従って、子どもたちの主体的な動きが非常に多くなっております。今後その動きが子どもたちの未来を生き抜く力になっていくだろうと非常に期待を持って見ております。これからのグローバル教育の推進を意識しながらリーダーの育成に努めていきたいと考えております。子どもたちが主体的によくやっている姿が今回も見ることができました。以上でございます。

○石井委員 日ごろの学校生活でそういう取組の成果が目に見えて変わってきているというのを感じられますか。

○指導課長 以前より行事等で主体的に活動する場面が多くみられるようになりました。

11 閉 会

○加賀谷教育長 以上をもちまして、本日の定例教育委員会を閉会いたします。